

議

案審議

■第1回臨時会（1月）では、市長から提出された議案1件を否決し、補正予算案1件を修正可決しました。

■第2回定例会（3月）に市長から提出された議案は、新年度予算案7件（2〜7ページ）のほかに、専決処分の報告1件、条例に関する議案11件、補正予算案9件、その他の議案4件、合わせて32件すべてを可決・承認・同意しました。

■委員会提出議案は、条例改正案1件、規則改正案1件を可決しました。

■審査した陳情3件は、2件が不採択、1件が趣旨採択となりました。
主な議案の概要は次のとおりです。

市長提出議案（1月臨時会）

■羽村市自然休暇村の指定管理者の指定を否決

羽村市自然休暇村清里及び羽村市自然休暇村ハケ岳少年自然の家の指定管理者の指定について

【指定管理者の名称】 グリーンハウス・太平ビルサービス共同事業体

【施行日】 令和3年4月1日〜令和4年3月31日

【議決結果】 否決

質疑

Q 令和3年度の予約状況は。

A 市内外の小中学校など54団体、5236人の申込みがある。

Q 今回、指定管理者の指定期間が1年間なのはなぜか。

A 大規模改修が必要になることなどから、現在の財政状況を踏まえ、1年後を目途に施設を廃止していく方向性となったため。

Q これまで年間6千万円程度の指定管理委託料だったが、8千万円以上となっている理由は。

A コロナ禍の影響による利用者数の減に伴い、宿泊利用料の減少が見込まれる関係で増額した。

討論

反対

財政が厳しい状況で施設の維持を1年間延長することは、財政に対する現状認識が甘いと言わざるを得ない。8千万円の予算は、コロナ禍の影響を受けている市民の支援に充てるべき。

賛成

（令和かがやき・馳平）
本案が認められない場合は、2か月後には廃止せざるを得ない。本案を認め、今後1年間かけて民間への移譲なども検討していくべき。（令和かがやき・濱中）

反対

以前から自然休暇村の見直しについて指摘してきた。利用者を見込めない中で8千万円かけて指定管理を継続する意味がない。限られた予算を市民サービスに振り分けるべき。（公明党・西川）

賛成

廃止の方向性ではあるが、予約がすでに入っていることや、市民への説明期間も考慮し、令和3年度の1年間は運営を継続すべき。（つながる力・高田）

反対

コロナ禍の影響で、来年度以降の施設の利用は不透明である。委託料は高額で、これから市民の声を聞き、方針を決定する段取りにもなっている。結論が出るまで運営を一時停止すべき。(日本共産党・鈴木)

反対 新型コロナウイルスの影響で今後安定した営業ができる補償はない。廃止を含めた今後の在り方は市民参加で検討し、市民の理解を得るべき。8千万円は新型コロナウイルス対策に充当することが最も求められている施策と考える。
(市民ネットワーク・門間)

市長提出議案(3月定例会)

羽村市自然休暇村を廃止

羽村市自然休暇村条例及び羽村市自然休暇村少年自然の家条例を廃止する条例

【主な内容】

施設の老朽化等により、令和3年3月31日をもって羽村市自然休暇村を廃止する必要があるため、条例を廃止するものです。

【施行日】 令和3年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

- Q** 市民への説明は。
- A** 条例の廃止が決定したら、広報・公式サイト等を通じて自然休暇村の廃止をお知らせしていく。
- Q** 廃止が決定した後のプロセスは。
- A** 建物解体の設計業務を行った後、建物を解体。土地は植栽を行い現状に復して山梨県へ返還する。
- Q** 民間への売却の考えは。
- A** 売却に関してリサーチとして6社の企業にヒアリング等を行ったが、希望する企業はなかった。

討論

反対 廃止に至るまでのプロセスにおいて、不明瞭な点が多く、市民への丁寧な情報提供や意見聴取も不十分であり、反対。

賛成

1月の臨時会において、指定管理者の指定の議案が否決され、施設の運営を停止する以上、維持管理費等の経費の支出をするべきではない。施設を行政財産から普通

財産にして処分を進めるべき。

(公明党・富永)

反対

廃止については、財政の現状を含めて市民の意見を直接聞いた上で決めるべき。運営は一時停止をしておくことが当然の対応である。(日本共産党・鈴木)

反対

1月の臨時会では指定管理者の指定議案、今定例会では自然休暇村の廃止条例議案が提案され、市民への説明もなく強引で市民不在の進め方であり、認めることはできない。
(市民ネットワーク・門間)

65歳以上の被保険者の介護保険料率を改定

羽村市介護保険条例の一部を改正する条例

【主な内容】

令和3年度から5年度までの保険料率を改定するとともに、平成30年度税制改正等に伴う規定を整備するものです。

【施行日】 令和3年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 介護保険料は毎回上げざるを得なくなっている。公的負担を増やすよう、国や都に働きかけているか。

A 羽村市は介護認定者数も増えており、給付費も増加している。給付費はそれぞれの負担で賄っていくものであり、各自自治体によって保険料の金額は増減するため、市の事情だけで国に要望することはしていない。

討論

反対 平成27年度、30年度に続き3回連続の値上げである。コロナ禍における保険料の値上げは、市民の生活を一層困難にさせる。基金を最大限活用して保険料を極力抑えるべき。(日本共産党・浜中)

賛成 低所得者への配慮とともに、できる限り保険料の上昇の抑制がなされたものである。市の保険料は都内で一番低い設定で、給付に見合った保険料であり、改正は妥当。
(新政会・富松)

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(1月26日・3月4日分)でご覧いただけます。

■市長提出議案の議決結果

<第1回臨時会(1月)で賛否の分かれた議案>

件名・概要		会派名(数字は人数)								本会議での 議決結果
		令	公	新	共	ネ	世	力	風	
		(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市自然休暇村清里及び羽村市自然休暇村ハヶ岳 少年自然の家の指定管理者の指定について P 8		○ ×	×	○ ×	×	×	欠	○	○	否決
令和2年度羽村市一般会計補正予算 (第10号) 歳入歳出それぞれ7,495万8千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ297億4,813万8千円とする。 修正案：否決された議案に関する債務負担行為補正を削る。	修正案	○ ×	○	○ ×	○	○	欠	○	×	修正可決
	修正部分 を除く 原案	○	○	○	○	○	欠	○	○	

<第2回定例会(3月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決 結果	件名・概要	議決 結果
専決処分の承認を求めることについて〔令和2年度羽村市一般会計補正予算(第11号)〕 歳入歳出それぞれ940万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ297億5,753万8千円とする。	承認	令和2年度羽村市一般会計補正予算(第13号) 歳入歳出それぞれ2億1,130万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ297億9,100万円とする。	
職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 地域手当及び管理職手当に関する暫定措置を延長する。		令和2年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ1億3,872万1千円を減額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ59億4,807万6千円とする。	
羽村市長等の給料等の特例に関する条例の一部を改正する条例 市長、副市長及び教育長の給料について、令和3年3月31日まで実施している減額措置を延長する。		令和2年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ2,023万6千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ13億4,157万6千円とする。	
羽村市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例 関係法令の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。	原案 可決	令和2年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ61万7千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ39億5,898万4千円とする。	原案 可決
羽村市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係法令の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。		令和2年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地地区画整理事業会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ206万7千円を減額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ19億4,252万2千円とする。	
羽村市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 関係法令の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。		令和2年度羽村市水道事業会計補正予算(第2号) 消費税等の増加及び、事務事業の確定等に伴う補正。	
羽村市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 関係法令の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。		令和2年度羽村市下水道事業会計補正予算(第2号) 資本的収入における予算科目の組替及び、事務事業の確定等に伴う補正。	
羽村市企業誘致促進に関する条例の一部を改正する条例 企業誘致制度を継続し、市内での新たな企業立地と雇用創出を促進していくため条例の一部を改正する。		令和3年度羽村市一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1,000万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ222億3,600万円とする。	
羽村市立公園条例の一部を改正する条例 羽村市立グリーントリム公園の用地取得及び改修工事に伴い、公園面積を変更する。		羽村市防災行政無線(固定系)デジタル化整備工事(令和2年度～令和3年度工事分)請負契約について 羽村市防災行政無線(固定系)デジタル化整備工事を施工するため、請負契約を締結する。	
羽村市国民健康保険条例及び羽村市介護保険条例の一部を改正する条例 新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正に伴い、条例の一部を改正する。		監査委員の選任について 監査委員の任期満了に伴い、渡辺 晃氏を委員に選任したいので、議会の同意を求める。	原案 同意
令和2年度羽村市一般会計補正予算(第12号) 歳入歳出それぞれ1億7,783万8千円を減額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ295億7,970万円とする。		損害賠償額の決定について 公用車により、住宅敷地内の自転車2台と建物外壁を損傷させた事故に対する損害賠償額を決定する。	原案 可決
		損害賠償額の決定について 公園内の樹木の剪定作業により、剪定枝が接触し自動車に損傷させた事故に対する損害賠償額を決定する。	

＜第2回定例会（3月）で賛否の分かれた議案＞

件名・概要	会派名（数字は人数）								本会議での 議決結果
	令	公	新	共	ネ	世	力	風	
	(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市介護保険条例の一部を改正する条例 P9	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
羽村市自然休暇村条例及び羽村市自然休暇村少年 自然の家条例を廃止する条例 P9	○ ×	○	○ ×	×	×	×	○	○	

＜令和3年度予算の議決結果＞

件名 (詳細は P4 ～ P9 をご参照ください)	会派名（数字は人数）								本会議での 議決結果
	令	公	新	共	ネ	世	力	風	
	(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計予算	○	○	○ ×	×	×	×	○	○	原案可決
羽村市国民健康保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市後期高齢者医療会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市介護保険事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	
羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理 事業会計予算	○ ×	○	○	×	×	×	○	○	
羽村市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	
羽村市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	

■陳情の審議結果

件名	審査した 委員会	会派名（数字は人数）								本会議での 議決結果
		令	公	新	共	ネ	世	力	風	
		(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
「公文書隠蔽」疑惑の解明を求める陳情書	総務 委員会	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択
核兵器禁止条約の署名、批准を日本政府 に要請する意見書提出に関する陳情書		—	□	□	—	—	—	□	□	趣旨採択※
安全・安心の医療・介護の実現と国民の いのちと健康を守るための意見書の提出 に関する陳情書	厚生 委員会	○ ×	×	×	○	○	○	×	×	不採択

※趣旨採択を求める討論と採決（採択）を求める討論があり、まず趣旨採択を諮った結果、賛成多数で趣旨採択と決定しました。

■委員会提出議案の議決結果

件名	議決結果
羽村市議会委員会条例の一部を改正する条例 記録に関する規定を改めるため、条例の一部を改正する。	原案可決
羽村市議会会議規則の一部を改正する規則 新たに協議又は調整を行うための場を設けるとともに、請願書の記載事項等の規定を改めるため、規則の一部を改正する。	

凡
例

■各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対 欠…欠席

※表中の二段書きは、
会派内で賛否が分かれたことを表します。

■陳情 / ○…採択 ×…不採択 □…趣旨採択

■会 派 名 ■ 令…令和かがやき 公…公明党 新…新政会 共…日本共産党
ネ…市民ネットワーク 世…世論 力…つながる力 風…新しい風

一般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。

第2回定例会では、

2月24日、26日、3月2日の3日間にわたり

16人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



《Q》市が進めるマンホールトイレのメリットは

《A》貯留もでき、下水道本管へ流すこともできる

高田 和登 議員（つながる力）



平常時と災害時の

トイレについて

質問 市が進めるマンホールトイレはすべて「貯留型」を採用しているが、メリット、デメリットは何か。

市長 貯留型は、本管直結型や流下型と比べ、下水道本管が被災した場合でも一定量の排泄物を貯留でき、通常に使用できる場合には下水道本管へ流すこともできるメリットがある。デメリットはない。

質問 簡易トイレ等を備蓄している家庭は少数と考えるが、いかがか。

市長 各家庭での簡易トイレの備蓄が進むよう、積極的な周知・啓発に努める。

質問 市との災害協定先でトイレトレーラーを所有する自治体はないか。

市長 姉妹都市である北杜市では、令和2年9月にトイレトレーラー1台を導入しており、市が被災し、必要な場合には「災害相互応援協定」に基づき、派遣していただける。

質問 学校における非接触型の自動水栓の現状と今後の方針を問う。

教育長 今後もトイレ改修工事にあわせ自動水栓化を進める。

コロナ差別禁止条例について 市でも独自に「コロナ差別禁止条例」を制定すべきと考えるが、どうか。

市長 東京都が制定した「東京都新型コロナウイルス感染症対策条例」は不当な差別的取扱いを禁止しており、羽村市民および市内事業者にも適用となる。

■その他の質問
「学校給食費などの公会計化について」



マンホールトイレ
(国土交通省ウェブサイトより)



《Q》ESDやユネスコスクールの推進を

《A》地球や未来への視野に立った教育を推進していく

石居 尚郎 議員（公明党）



人を育み人が輝く羽村市を

質問 ※ESDやユネスコスクールの推進を改めて提案するがどうか。

教育長 学習指導要領に基づき、ESDの地球や未来への視野に立った教育の考え方を、教育課程に関連づけて推進していく。

質問 幼児期の教育と児童期の教育が円滑に接続できる仕組みについては。

教育長 幼稚園、保育園と小学校の連携を充実させ、子どもたちや保護者が安心できるように、円滑な接続を行っていく。

質問 自身の確立とともに他者への貢献を目指す教育をどう進めていくのか。



教育を中心としたSDGsのロゴマーク

教育長 教育活動全体を通じて、児童・生徒が自立貢献を図り、持続可能な社会の担い手となるよう学校教育を進めていく。

質問 若い世代を、愛情をもって育むまちとして、キャリア教育、リカレント教育の推進について問う。

教育長 中学生の職場体験事業では、自らの生き方について考える機会を設けており、将来のキャリア形成と自己肯定感の育成につなげていきたい。リカレント教育を「学び直し」と捉え

ると、地域づくり、人づくりに欠くことのできない重要な要素であり、今後さまざまな情報や、講座などの開催による学習機会の提供などを充実させていく。

※ESD：持続可能な社会づくりの担い手を育む教育

※ユネスコスクール：ユネスコ憲章に示された理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校

■その他の質問

「感染症から命を守れ ワクチン接種の対応」



《Q》各種団体とオンラインでの交流を深めてはどうか

《A》今後の取組みの選択肢の一つ、効果的な方法を研究

富永 訓正 議員（公明党）



東日本大震災から10年、改めて防災力の向上を

「心の復興」「人間の復興」へ、徹して被災者に寄り添い続けていく必要がある。

質問 風化することがないようどうしていくのか。

市長 被災地見学会や大震災が発生した3月11日の時期に羽村市防災週間を設定。被災地写真を展示する企画展、語り部を招いての防災講演会、防災バスツアーなどを今後も継続して実施していく。

質問 被災地との人的交流や、各種団体とオンラインでの交流を深めてはどうか。

市長 交流を通じて被災地から学び、市の防災対策の



土地のかさ上げ工事が進む南三陸町旧市街地方面（2015年10月撮影）

強化に繋がる効果が期待でき、双方にとって意義のある取組みであると認識している。今後被災地との人的交流、支援を実施していく。オンラインでの交流は今後の取組みの選択肢の一つであり、効果的な方法を研究する。

防犯・交通安全で

市民の安全・安心を

「自分たちの地域は、自分たちで守る」という意識のもと、各種団体によりさまざまな活動が行われている。

質問 「市民パトロールセンターはむら」について、さらなる市民生活の安全・安心に向けてどのような支援を考えているか。

市長 重要な役割を担っていただいております。人材確保や運営支援に努め、将来的には自立した運営に向けた支援を行っていく。



《Q》並本市長就任前から基金はどれほど減少したか

《A》総額 52 億 8 千万円の減少となっている

馳平 耕三 議員（令和かがやき）



**基金の大幅な減少で、
区画整理、自然災害、
コロナにどう備えるか**

質問 並本市長就任前と令和元年度末では、基金全体は、総額、何%減少したか。

市長 総額約52億8千万円、約76%の減となっている。

質問 総務省の調査では、平成18年度末と28年度末を比較し、全国の市町村では財政調整基金が78・6%増加しているのに対し、羽村市では37・3%減少している。主な理由は。

市長 市税の減収が主要因と捉えている。

質問 基金が減少している中、区画整理などの事業をどう実施する考えか。

市長 基金の確保、国や都の特定財源の確保に努め、市債も活用して実施していく。

総額3億6千万円のプレミアム商品券事業を問う
質問 第1回販売で完売できなかったのはなぜか。

市長 コロナ禍の外出自粛や営業時間の短縮要請など



総額3億6千万円のプレミアム商品券

により、飲食店などがあるような経営ができなかったことや、将来の生活不安から市民に節約志向が強まっていることが要因と考えている。

質問 追加販売でも売れ残った冊数は。

市長 5937冊である。

質問 追加販売で市内在住、在学・在勤者の要件がはずされ、市外の方や一回目に購入した方も購入できるとしたが、本来の趣旨からはずれてないか。

市長 追加販売での対応は、本来の趣旨に即している。

■その他の質問

「オリ・パラ終了後、羽村市とキルギス共和国の関係性は」



《Q》提案してきた「デジタル母子手帳」は進むのか？

《A》マイナポータルと連携したアプリの導入を検討中

西川 美佐保 議員（公明党）



**妊娠から子育てまで
切れ目のない支援強化を**

質問 これまで提案してきた「デジタル母子手帳」はどうなっているのか。

市長 複雑化している予防接種のスケジュール管理を簡便に行うため、母子手帳と併用し、マイナポータルと連携したアプリの導入を現在、検討している。

質問 コロナ禍の中で、ママ友を作りづらい環境だと思うが、リモートパパ会やママ会を開催しては。

市長 既存のオンライン相談の環境を活用して実施することなどを検討する。

質問 産後ケア事業の「アウトリーチ型」、「デイサー



妊娠から子育てまで、切れ目のない支援

ビス型」、「宿泊型」のそれぞれの利用状況は。

市長 令和2年度、それぞれ58件、35件、0件である。

質問 多胎児妊娠婦支援事業はどう進めていくのか。

市長 今後事業化について、検討していく。

コロナ禍での生活者支援と事業者支援について

質問 昨年4月～10月末まで生活保護決定は59世帯。現役世代で働きたいのに仕事がない方への対応や就労状況は。

市長 今年度新たに生活保護受給者となり、就労支援を行った方のうち、11世帯11人が就労し、収入増となっている。

質問 事業者の相談事業の継続は必要ではないか。

市長 商工会と連携し、専門家による相談事業の必要性を見極めながら検討していく。



《Q》コロナ禍の今、ハラスメント対策を強化すべきでは！

《A》都との連携など、現行の体制で対応していく

大塚 あかね 議員（令和かがやき）



コロナ禍におけるハラスメント対策強化について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、配偶者や子どもへの暴力のリスクが高まっている。職場においては、コロナハラスメントにまつわる相談も増加しているという。ハラスメント対策を強化すべきでは。

質問 DV被害者が過去最高となっている。相談体制の充実が必要ではないか。

市長 相談員は近隣自治体と比較し、充実した配置となっているので、現行の体制で対応していきたい。

質問 被害者の居住安定のため、市営住宅への優先入居や目的外使用を実施して



DV 相談に関する案内リーフレット

はどうか。

市長 市では加害者に居場所を特定されるリスクを軽減するため、市外で探すことを基本としているが、今後、検討していく。

質問 市役所におけるコロナハラスメント対策を伺う。

市長 コロナに対する正しい知識や感染予防対策の徹底、国及び都の要請に沿った勤務の取組みに努めている。

農業の継承と発展のために市がなすべきことは

質問 羽村市の農業を守り、発展させていくために、市は何をすべきと考えているのか。

市長 農業が魅力と活力ある産業として営まれ、経営が安定的に継続されるよう、経営の合理化・多角化の推進、認定農業者制度の確立など、経営基盤の強化を図る取組みを進めている。

■その他の質問
「香害の周知を図ってはいかがか」



《Q》ワクチンの接種予約は、どのような方法か

《A》予約システムやコールセンターでの予約を予定

梶 正明 議員（新しい風）



新型コロナウイルスワクチン接種の準備状況等について

質問 ワクチン接種の予約は、どのような方法で行うか。

市長 市では、ファイザー社のワクチンが先行するとの情報を受け、接種開始当初は、集団接種を中心とした体制を想定している。今後、お示しする予約システムおよびコールセンターでの電話予約を予定している。

質問 基礎疾患のある人は優先接種されるが、市では基礎疾患の情報をどのように取得するか。

市長 基礎疾患を有する市民の方は、国が示す基礎疾患の基準をもとに自ら判断し、疾患の無い方より先に



ワクチン接種場所のスポーツセンター

設定される接種期間に受けていただく。なお、市区町村が事前に基礎疾患を有する方を抽出することは、想定していないとされている。

質問 どのワクチンを接種するか、市民は選べるか。

市長 現時点では、市民の皆様がワクチンを選択することはできないと聞いている。

質問 高齢者は接種場所までの交通手段がない場合もある。どのように対応するか。

市長 接種開始当初は、集団接種が中心になることが想定され、羽村市スポーツセンターで実施することから、交通手段については、今後、検討していく。

■その他の質問
「学校給食費の公費計化について」

